

## 平成20年度第2回大分県協働推進会議要旨

1. 開催日時 平成21年2月12日(木) 15:30~17:00
2. 開催場所 大分県庁新館13F K132会議室
3. 出席者氏名 (委員) 足利由紀子委員、稲生亨委員、奥田憲昭委員、小野町子委員、勝尾逸子委員、坂本幸枝委員、武田寛委員、野下直樹委員、平山文彦委員、松尾和行委員、吉田彰一委員、渡邊由美子委員  
計13名  
(県) 小手川義光企画振興部審議監、梅木利枝県民活動支援室室長、  
県民活動支援室 中村均子、塚本由美、飯田亮 計5名  
(オブザーバー) 大分NPOプラザ 田邊悦孝、山下莖三 計2名

### 4. 議事

- (1) NPOに対する支援策について
- (2) 県とNPOとの協働について
  - ①協働を進める上での課題及び具体的方策について
  - ②NPOの意見・提案を県施策に反映させるしくみについて
- (3) 大分県のNPO法人の状況について

### 5. 議事内容

#### (1) NPOに対する支援策について

(委員)

県内で他のNPOを支援する中間支援組織は育成されているのか？

(事務局)

定款上、活動の種類に「中間支援」を掲げているNPO法人数は185。しかし、実際に中間支援できるNPOは少ないのが実情。「大分NPOプラザ」の運営委託も、中間支援を活動の種類に掲げているNPOから選考する。増えていくことを希望している。

(委員)

中間支援組織育成研修に参加したかったが、行けなかった。参加できなかった人に対して、資料をホームページ上などでダウンロードできるようになっているのか。

(事務局・回答)

知的財産権などの問題もあるが、可能な限り資料提供するようにしたい。

(委員)

「大分NPOプラザ」を利用する場合、大分まで出向かなければならない。地域で気軽に打ち合わせなどに使える場があるとよい。大分市から遠隔地にあるNPOへの支援をお願いしたい。

(事務局・回答)

「大分NPOプラザ」の協働コーディネーターは月5日以上地域を訪問するという委託内

容になっている。遠慮なく活用していただきたい。

打ち合わせ場所の問題については、振興局会議室等を管理している担当部署と協議したい。  
また、市町村の取組も促したい。

(委員)

地域ごとに NPO 法人のネットワーク化を進めてほしい。いろんな分野の NPO が集まって意見交換できるとよい。

## (2) 県とNPOとの協働について

### ①協働を進める上での課題及び具体的方策について

(委員)

県の動きは見てきたが、市町村と NPO との協働の進み具合はどうか？市町村によって温度差があるように思える。県がどのように市町村を巻き込んでいくかが課題。

(事務局・回答)

市町村と NPO との協働は重要であり、県では市町村に対し、NPO との協働推進体制の整備をお願いしている。今年度新たに窓口を設置したのは6市町、宇佐市では指針を作成、日田市では提案公募型事業を実施している。

(委員)

県との協働事業の打ち合わせ時、県の担当者から協働の意味を尋ねられた。担当者によって理解度が大きく違う。職員に対する研修を行ってほしい。

### ②NPOの意見・提案を県施策に反映させるしくみについて

(委員)

NPO の中には、県に対して事業提案しても通らないというイメージがある。NPO 側も協働についての共通の意識を持つことが必要である。

## (3) 大分県のNPO法人の状況について

(委員)

県のホームページ上で NPO 法人の事業報告書等を情報公開することはよいが、悪用されるケースがある。現在は、県民活動支援室での閲覧なので、見た人がわかるが、インターネットでは、収支等の情報がわかることで、悪徳業者のターゲットにされる可能性もある。

(事務局・回答)

事業報告書等は、法律で公開対象書類となっている。

(委員)

事業報告書等をホームページ上で公開することで信頼を得ることもできる。